twitter facebook mixi ココログ

発行：2013.06.01

長畑（ながはた）ひろのり News

市政報告06月号 vol.068

四條畷市議会議員／一級建築士　http://nagahata.jp　sky@nagahata.jp

こんにちは、市政報告です

５月は２回目のフルマラソンとなる“とやま清流マラソン”に出場しました。豪雪地帯の富山県ですが、この時期はさすがに暑く、完走はしましたが見事に撃沈しました。これから秋までは大会に出場せず、地道に練習を続けたいと思います。

さて、５月１７日に臨時議会が開かれ、新しい正副議長、そして、常任委員会や一部事務組合等の派遣先も決まるなど、議会は新体制となりました。ただ、監査委員は決まらず、６月の定例議会で再度決める事になると思います。まずは、その結果報告を、そして、裏面では議員の活動なども報告させて頂きます。

「議会内の役選結果」について

役員選出の結果は、任期中（平成２３年度～）も含め下記の通りです。特に、正副議長は議員の選挙によって決まりますので、会派の人数に影響されるのは仕方ありません。

そして、私は、本年度も畷市民クラブの幹事長で、会派代表者会議、議会運営委員会委員となり、昨年度同様、議会運営上重要な会議に出席します。また、左下表のように議員の半数が所属する教育福祉常任委員会の委員長に決まりました。

その他、平成２５、２６年度に所属するのは次の通りです。審議会は、住居表示審議委員会と東部大阪治水対策促進議会協議会（役職は常任委員）。そして、介護保険の地域区分の結果が出ていませんので（裏面参照）、再度くすのき広域連合議会の議員（役職は畷の代表）をさせて頂くことになりました。

	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
議　長	大川泰生（維）	瓜生照代（公）	岡山　毅（維）
副議長	長畑浩則（畷）	渡辺　裕（維）	島　弘一（畷）
監査委員	小原達朗（公）	佐藤　誠（畷）	－未　定－
（教）委員長	平野美治（維）	小原達朗（公）	長畑浩則（畷）
（総）委員長	曽田平治（公）	岡山　毅（維）	渡辺　裕（維）
（議）委員長	大川泰生（維）	大川泰生（維）	瓜生照代（公）
（決）委員長	岡山　毅（維）	長畑浩則（畷）	－未　定－
（予）委員長	岡山　毅（維）	大川泰生（維）	－未　定－

（教）＝教育福祉常任委員会・（総）＝総務建水消防常任委員会
（議）＝議会運営委員会
（決）＝決算特別委員会　・（予）＝予算特別委員会
（維）＝なわて維新良政会［６名］・（公）＝市議会公明党［４名］
（畷）＝畷市民クラブ［３名］・（共）＝日本共産党市会議員団［２名］

「風しんの予防接種」について

麻しん風しん混合ワクチンの予防接種費用の公費助成が、下記内容の通り始まっています（詳細は市のホームページ）。

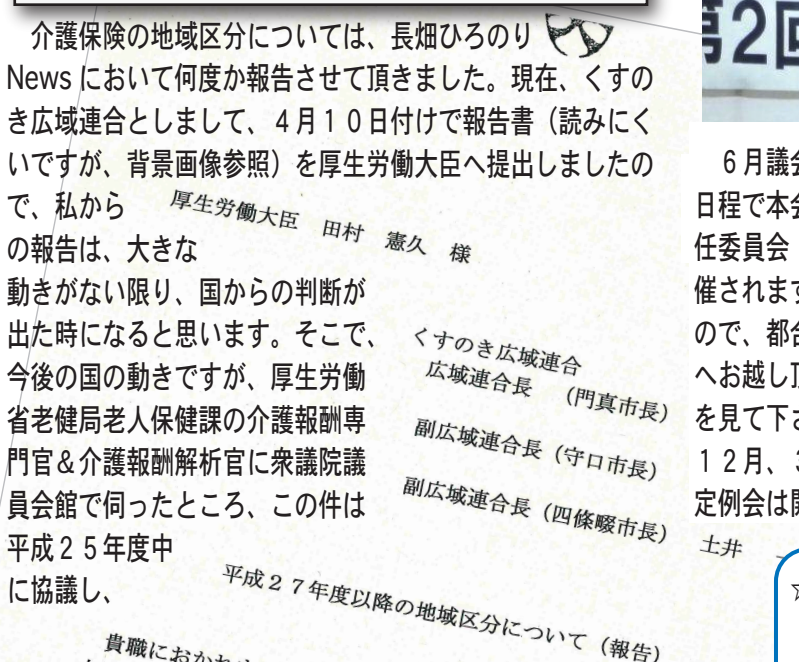
●実施機関：平成２５年５月２０日～平成２５年９月３０日
●対象者：接種日に四條畷市であり、下記に該当する人
　1. 妊娠中の女性の夫（婚姻の有無は問わない）
　2. １９才以上の妊娠を希望する女性
※ただし、次の人は助成の対象になりません
　1. すでに風しんにかかったことが明らかな人
　2. 麻しん風しん混合ワクチン、または、風しん単独のワクチンを２回接種済みの人
●接種時の自己負担額
　1. 妊娠中の女性の夫　１，０００円
　2. １９才以上の妊娠を希望する女性　３，０００円

公費助成の理由は、風しんの流行が拡大しており、妊娠中に感染すると、心臓病、白内障、聴力障がいなどの障がいを持った子どもが生まれる可能性が高くなるからです。

また、対象者が絞られるのは次の理由だと考えます。風しんのワクチン接種対象となったのは１９９５年４月からで、対象年齢は生後１２～９０ヶ月未満の男女となり、１９７９年４月２日～１９８７年１０月１日に生まれた男女は、ワクチンの予防接種が集団接種から個別接種となりました。そのため、この世代の方はワクチンの接種率が低くなっています。つまり、現在２０代～３０代の男女は１９９５年まで公費を使って風しんの予防接種を実施していなかったため、妊娠中の感染予防を考えれば上記対象者になったのではと思います。

「介護保険の地域区分」について

介護保険の地域区分については、長畑ひろのり News において何度か報告させて頂きました。現在、くすのき広域連合としまして、４月１０日付けで報告書（読みにくいですが、背景画像参照）を厚生労働大臣へ提出しましたので、私からの報告は、大きな動きがない限り、国からの判断が出た時になると思います。そこで、今後の国の動きですが、厚生労働省老健局老人保健課の介護報酬専門官＆介護報酬解析官に衆議院議員会館で伺ったところ、この件は平成２５年度中に協議し、平成２６年度の早い時期には結果が出るとのことです。ただ、注意して頂きたいのは、国において地域区分の見直しが行なわれるものであり、３市が１５％で統一されたと確定したものではありません。


厚生労働大臣　田村　憲久　様

くすのき広域連合
広域連合長　（門真市長）
副広域連合長（守口市長）
副広域連合長（四條畷市長）

平成２７年度以降の地域区分について（報告）

貴職におかれましては、国民の健康増進及び福祉の向上に対するご尽力に深く敬意を表する次第であります。

第５期介護保険事業計画が開始されております平成２４年度から平成２６年度におきましては、本来ならば本広域連合を構成する３市の介護報酬に係る地域区分が２級地（15%）と６級地（3%）へ区分されますところ、本広域連合に対する特段のご配慮により、４級地（10%）とする経過措置を設けていただき、心より御礼申し上げます。

本広域連合といたしましては、介護保険制度創設時から、「同一保険料で同じ水準の介護サービスを提供する」ことを目的に掲げておりますことから、平成２７年度以降につきましても、広域連合域内を２級地（15%）に統一して介護保険事業を運営するとの合意ができましたことをご報告申し上げます。

また、今回の介護保険における地域区分の元となった本市の地域手当も、本市から国に対して３％から１０％へ上げて頂きたいとの内容で要望書を提出しています。この件も平成２８年度には改訂されますので、人事院において介護保険同様に検討されることを願うばかりです。この要望が通れば、特別交付金に反映されますので本市の財源も確実に増えるのです（詳細は長畑ひろのり News vol.064 にて）。

「議会及び議員の活動」について

昨年４月１日に、四條畷市議会基本条例が施行され、それに基づき第２回議会報告会が、４月２５日午後２時よりグリーンホール田原なるなるホール、２６日午後７時より市民総合センター展示ホールにて行なわれました。報告内容は、３月議会の本会議質疑、一般質問、常任委員会及び予算特別委員会で、市民の方からの質問や要望も聞かせて頂きました。

次に、議会は定例会（いわゆる議会）に合わせて動いていますので、その流れを６月議会を例に報告させて頂きます。

６月議会の予定ですが、下記日程で本会議（議場にて）や常任委員会（委員会室にて）が開催されます。全て傍聴できますので、都合が付けば市役所本館へお越し頂き、我々議員の活動を見て下さい。今後は、９月、１２月、３月と、３の倍数月に定例会は開催されます。

☆６月定例会及び常任委員会日程（変更あり）
７日（金）本会議
１０日（月）教育福祉常任委員会（付託議案審査）
１１日（火）総務建水消防常任委員会（　〃　）
２０日（木）各委員長報告（付託議案審査結果）
　　一般質問（各議員）
２１日（金）一般質問（各議員）

また、定例会を行なうまでの議会の流れですが、以上の日程を運営するために、１ヶ月前の５月２１日に議会運営委員会と会派代表者会議（両会議とも会派からは幹事長の長畑が出席）、５月２４日に議会全員協議会、１週間前の５月３１日に議会運営委員会と会派代表者会議及び各議員へ議案が発送され、開会前日の６月４日に議会運営委員会が開催されます。

もう少し詳しく言えば、５月３１日に議案を手にし、各議員が個々で検討した後に会派で会議をし、どの案件を常任委員会に付託し詳細に審査をするかを決定します。そして、６月４日の議会運営委員会で各会派の意見を調整し、どの案件を常任委員会に付託するか決定すると言う流れです。付託しない案件については、６月７日の本会議で審議されます。ただ、本会議での審議は、議案一つにつき、議員は２回しか質疑ができません。それに比べ常任委員会では、議員の質疑回数は制限がありません。以上のことからも、常任委員会へ付託された方が、より内容の濃い審査ができるということです。また、常任委員会で付託された案件も、６月２０日の議会で再度審議されます。この時には、先と同様に議員は２回しか質疑ができません。

※ちなみに付託とは“特に議会で、議案の審査を本会議の議決に先だって常任委員会に審査を委ねること”です。また、良く似た言葉に負託がありますが、この負託とは“他人に引き受けさせてまかせること”で、国民の負託にこたえる、などの様に使われます。